

環境問題解決への第一歩!!

レジ袋有料化

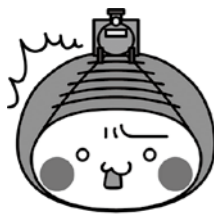
2020年7月1日から始まります!

～レジ袋削減にご協力ください～

令和2年7月1日から、全国でレジ袋（プラスチック製買い物袋）の有料化制度が導入されます。これは、普段、何げなくもらっているレジ袋を有料化することで、レジ袋が本当に必要かを考え、私たちのライフスタイルを見直すきっかけとすることを目的としています。

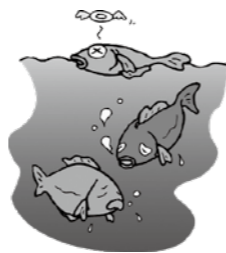
●プラスチックごみが引き起こす環境問題

プラスチックは私たちの生活に広く浸透し、利便性と恩恵をもたらしてきました。しかし、世界全体では毎年約800万tものプラスチックごみが、海洋へ流出していると推計されています。また、海の生き物が、海に漂流しているビニール袋やプラスチックごみが小さな破片になったマイクロプラスチックを食べ、死んでしまったり傷ついてしまったりする例も報告されています。



このままでは…

2050年には海洋における魚の重量をプラスチックごみの重量が上回ってしまうという予測まであります。



課題解決のため、レジ袋削減に努めることが重要です!!

●私たちにできること

レジ袋削減に最も有効なのは、レジ袋を使わずにマイバッグを使うことです。

マイバッグのマナーを紹介します!

- ・買い物中は折り畳んでおく
- ・商品は、お店の買い物かごに入れる
- ・レジを渡ってからマイバッグを使う
- ・お店の買い物かごは指定の場所に戻す



レジ袋有料化に関する
経済産業省の相談窓口

◆消費者向け ☎ 0570・080180
◆事業者向け ☎ 0570・000930



▲経済産業省ホームページQRコード

【問い合わせ】環境課ごみ減量係 ☎ 83・8126 FAX83・5896

もえるごみを減らそう!

もえるごみの削減に努め、ごみの減量化や再資源化を進めましょう。



●真岡市のごみ・資源搬入量の内訳

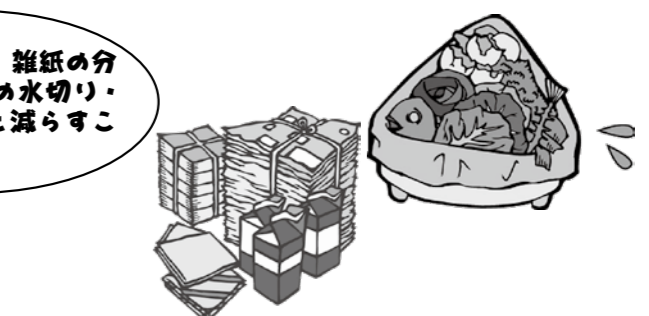
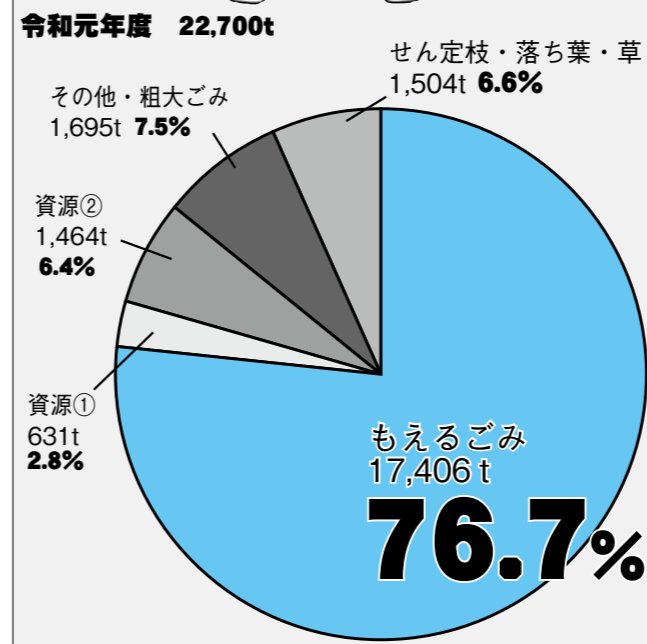
令和元年度、芳賀地区エコステーション等における市のごみ・資源の総搬入量は、22,700tでした。そのうち「もえるごみ」の量は、平成31年4月から開始した「せん定枝・落ち葉・草」の分別収集などの効果もあり、対前年度比で-704t（約3.9%減）の17,406tとなりました。しかし、依然としてもえるごみが全体の7割以上を占めています。



より一層、もえるごみの削減に努めましょう!



もえるごみは、雑紙の分別や、生ごみの水切り・堆肥化でもっと減らすことができます。



もえるごみに多く含まれている、生ごみや紙類を減らしていくことが、ごみの減量化や再資源化につながります!



引き続き「生ごみの水切り・堆肥化」や「雑紙の分別」などの徹底をお願いします。

●私たちにできること

もえるごみを減らすために、日々の生活で「3R」にも取り組みましょう。

- ▶3Rとは…
- ① Reduce (リデュース) : ごみを減らす
 - ② Reuse (リユース) : 繰り返し使う
 - ③ Recycle (リサイクル) : 資源化する

マイバッグを使用する
詰め替え商品を使用する
資源を分別する など